

詩編 第104編 30節

「あなたが御霊を送られると、彼らは造られます。
また、あなたは地の表を新しくされます。」

空を見上げる。水分をたっぷり含んだ雲が豪快に動いている。冬から春へと進む勢いが雲の躍動感に現れる。その雲の周りに、未だ冬季の濁いた雲がある。春の雲と冬の雲の綱引きはしばらく続きそうだ。時々顔を出す青空のなか、時折吹き抜ける強風のなか雲のドラマが空に繰り広げられる。そのなかで着実に時期は進んでいる。

天上のドラマを見上げる。地上のドラマと繋がっているような雲の躍動感である。一つとして同じ形の雲が無いように、人々が向き合っている課題も一つとして同じものはない。その人だけが出会う課題があり、その人だけがたどる課題との向き合い方がある。課題に向き合い、歩んでゆくなかで人生の季節が巡る。このドラマの脚本家が天地を備えたお方の手にあることを知って生きることは幸いだ。

真上の雲を見て、ドラマを思い、物語を描くことが出来、天上のドラマから地上のドラマに投射することが出来る。天地を見て、二つを繋いで物語るころを与えてくださる創造主がおられる。ここに立ち歩む幸いがある。